

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公表番号】特表2016-534094(P2016-534094A)

【公表日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-062

【出願番号】特願2016-530087(P2016-530087)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
A 6 1 K	31/711	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/50	(2017.01)
A 6 1 K	9/51	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
B 8 2 Y	5/00	(2011.01)
B 8 2 Y	40/00	(2011.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	Z N A
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	9/51	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/08	

A 6 1 P	9/00
A 6 1 P	3/00
B 8 2 Y	5/00
B 8 2 Y	40/00
A 6 1 P	35/00
C 1 2 N	15/00

A

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月25日(2017.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

核酸相互作用複合体のアンタゴニストのコロナ、ここで前記核酸相互作用複合体のアンタゴニストの表面密度が少なくとも 0.3 pmol/cm^2 であり、ここで核酸相互作用複合体のアンタゴニストが、任意に、少なくとも1のホスホジエステルヌクレオチド間結合を有する核酸である、を含む、ナノスケールコンストラクト。

【請求項2】

コロナ中に組み込まれた抗原、ここで該抗原の表面密度が少なくとも 0.3 pmol/cm^2 である、

をさらに含む、請求項1に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項3】

組み込まれた核酸相互作用複合体の少なくとも2つのアンタゴニストを有し、ここで前記アンタゴニストが、TLR3、7/8および/または9のアンタゴニストからなる群より選択される、

を含む、請求項1に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項4】

- a) 核酸相互作用複合体のアンタゴニストがスペーサーを含む、
- b) RNAもしくはDNAである、
- c) 二本鎖RNAもしくは二本鎖DNAである、または
- d) 一本鎖RNAである、

請求項1～3のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項5】

核酸相互作用複合体のアンタゴニストの表面密度が少なくとも 15 pmol/cm^2 であるか、または少なくとも 45 pmol/cm^2 である、請求項1～4のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項6】

核酸相互作用複合体のアンタゴニストが非メチル化デオキシリボ核酸であり、該非メチル化デオキシリボ核酸が、最適化された免疫調節配列を含む、請求項4に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項7】

ナノスケールコンストラクトが、金属性であるナノ粒子コアを含み、該金属コアが、金、銀、白金、アルミニウム、パラジウム、銅、コバルト、インジウム、ニッケルおよびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項1～6のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項8】

ナノスケールコンストラクトが分解可能である、1～7のいずれか一項に記載のナノ粒

子コンストラクト。

【請求項 9】

ナノスケールコンストラクトの直径が、平均直径において 1 nm ~ 約 250 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 240 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 230 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 220 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 210 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 200 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 190 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 180 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 170 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 160 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 150 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 140 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 130 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 120 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 110 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 100 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 90 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 80 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 70 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 60 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 50 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 40 nm、平均直径において約 1 nm ~ 約 30 nm、または平均直径において約 1 nm ~ 約 20 nm、または平均直径において約 1 nm ~ 約 10 nm である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項 10】

アンタゴニストが CpG オリゴヌクレオチドである、請求項 1 に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項 11】

コロナが球状コロナである、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクト。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクトおよびキャリアを含む、ワクチン。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクトを細胞に送達することを含む、治療剤を細胞に送達するための方法。

【請求項 14】

感染性疾患、炎症により誘導される癌、自己免疫疾患、アレルギー、アレルギー性疾患、炎症性疾患、代謝性疾患または心臓血管疾患を処置するために用いるための、あるいは対象が組織もしくは臓器移植のための候補またはそのレシピエントである、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクトを含む、組成物であって、該組成物が、免疫応答を低下させるために有効な量で前記対象に投与される、前記組成物。

【請求項 15】

対象における免疫応答の調節に用いるための、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載のナノスケールコンストラクトを含む組成物または請求項 12 に記載のワクチンであって、該組成物またはワクチンが、対象に、免疫応答を調節するために有効な量で投与される、前記組成物またはワクチン。